

飼料原料中のダイオキシン類 15年度実態調査結果を公表



農林水産省は平成16年4月20日までに15年度の飼料原料中のダイオキシン類実態調査の結果をまとめ、公表しました。

この調査は独立行政法人肥飼料検査所が毎年実施しているもので、15年度は魚粉9点、飼料用魚油12点、水産加工副産物7点、古畳わら4点、乾牧草類6点、畜産動物用配合飼料6点を対象にダイオキシン類濃度を調査しました。

公表内容によると、飼料原料中のダイオキシン類濃度は、下記の表の通りで、平均値は全て(注1)14年度より下まわりました。

平成15年度 飼料原料中のダイオキシン類濃度の調査結果

	最低	最高	平均
魚粉	0.022	1.38	0.54
魚油	4.45	18.4	11.1
水産加工副産物	0.018	1.54	0.567
古畳わら	1.91	8.23	3.98
乾牧草類	0.005	1.54	0.381
畜産動物用配合飼料	0.009	0.065	0.021

(単位:pgTEQ/g)

(注1)14年度に測定対象になっていない水産加工副産物を除く。

資料:2004年4月20日付 EICネット

総務部 横山 美代子

事業内容

- 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析
- 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明
- 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定
- 4 水道法第20条に基づく水質検査
- 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査
- 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定
- 7 トータルサニテーション管理
- 8 委託試験・研究・開発

